

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年7月12日

【四半期会計期間】 第5期第3四半期(自平成25年3月1日至平成25年5月31日)

【会社名】 ウエルシアホールディングス株式会社

【英訳名】 WELCIA HOLDINGS CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 高田 隆右

【本店の所在の場所】 東京都千代田区神田須田町一丁目9番地

【電話番号】 03-5207-5878(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役兼執行役員グループ経営管理本部長 佐藤 範正

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区神田須田町一丁目9番地

【電話番号】 03-5207-5878(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役兼執行役員グループ経営管理本部長 佐藤 範正

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第4期 第3四半期 連結累計期間	第5期 第3四半期 連結累計期間	第4期
会計期間		自 平成23年9月1日 至 平成24年5月31日	自 平成24年9月1日 至 平成25年5月31日	自 平成23年9月1日 至 平成24年8月31日
売上高	(百万円)	214,866	244,743	293,378
経常利益	(百万円)	7,942	10,108	12,292
四半期(当期)純利益	(百万円)	3,701	5,892	5,899
四半期包括利益又は包括利益	(百万円)	3,869	6,182	6,158
純資産額	(百万円)	40,503	48,405	42,792
総資産額	(百万円)	114,750	127,929	110,960
1株当たり四半期(当期)純利益金額	(円)	200.36	317.56	319.29
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額	(円)	-	-	-
自己資本比率	(%)	34.1	36.4	37.3

回次		第4期 第3四半期 連結会計期間	第5期 第3四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成24年3月1日 至 平成24年5月31日	自 平成25年3月1日 至 平成25年5月31日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	57.11	134.89

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円高水準の是正や株式市況の好転等を受け景気回復の期待感は見られるものの、世界経済全体の先行きの不透明感、不安定な雇用情勢等により、消費者の生活防衛意識は依然強く、引き続き低価格志向型の消費が継続するなど、依然として厳しい環境が続いております。

ドラッグストア業界におきましては、出店競争や価格競争の激化の波を受けるとともに、異業種参入、業務・資本提携やM & A等の生き残りをかけた業界再編の動きが継続し、業界を取り巻く環境は一段と厳しい状況となっております。

このような状況下におきまして、当社グループは、「ドラッグ&調剤」を中心としたビジネスモデルの推進に注力するとともに、お客様のニーズに対応する商品戦略の推進、販促施策の強化や春先の花粉関連商品の販売増に加え、調剤売上が順調に伸長していることにより既存店売上高は好調に推移いたしました。

当社は、平成24年9月1日付で、株式会社ドラッグフジイ（以下、「フジイ」という。）を株式交換により完全子会社化し、同日をもって当社の子会社であるウエルシア関東株式会社（以下、「ウエルシア関東」という。）が、フジイを吸収合併しております。さらに、平成25年3月1日付で、グループ会社の寺島薬局株式会社（以下、「寺島薬局」という。）のドラッグ部門をウエルシア関東に統合を行い、経営効率向上を目指しております。また、寺島薬局は、介護事業に特化し事業を継続してまいります。

店舗の開設・閉鎖につきましては、吸収合併したフジイの46店舗に加え、新規に70店舗を開店し、17店舗を閉店しております。結果、当第3四半期連結累計期間末の当社グループの店舗数は、863店舗となりました。

（単位：店）

	前期末店舗数 (平成24年8月31日)	出店数	閉店数	寺島薬局統合 による増減数	第3四半期末店舗数 (平成25年5月31日)
ウエルシア関東 (内、調剤取扱店) (内、深夜営業店)	415 (308) (343)	90	12	140	633 (425) (524)
高田薬局 (内、調剤取扱店) (内、深夜営業店)	132 (68) (73)	11	3	-	140 (70) (75)
寺島薬局 (内、調剤取扱店) (内、深夜営業店)	136 (79) (98)	6	2	140	- (-) (-)
ウエルシア関西 (内、調剤取扱店) (内、深夜営業店)	81 (27) (54)	9	-	-	90 (31) (62)
合計 (内、調剤取扱店) (内、深夜営業店)	764 (482) (568)	116	17	-	863 (526) (661)

また、品目別売上高は、下記の通りとなっております。

区分	金額（百万円）	前年同四半期比(%)
医薬品・衛生介護品・ベビー用品・健康食品	58,028	112.0
調剤	26,913	121.6
化粧品	44,428	112.4
家庭用雑貨	35,051	112.9
食品	58,468	114.2
その他	21,851	114.0
合計	244,743	113.9

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、244,743百万円（前年同四半期比13.9%増）、営業利益9,144百万円（同22.4%増）、経常利益10,108百万円（同27.3%増）、四半期純利益5,892百万円（同59.2%増）となりました。

## (2) 財政状態の分析

### （資産）

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して16,968百万円増加し、127,929百万円となりました。これは主に、商品が7,882百万円、有形固定資産が9,007百万円増加したことによるものです。

### （負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比較して11,356百万円増加し、79,524百万円となりました。これは主に、買掛金が8,107百万円、短期借入金が219百万円及び長期借入金が962百万円増加したことによるものです。

### （純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して5,612百万円増加し、48,405百万円となりました。

## (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

## (4) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	61,868,400
計	61,868,400

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年5月31日)	提出日現在発行数(株) (平成25年7月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	18,574,343	18,574,343	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株 であります。
計	18,574,343	18,574,343	-	-

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成25年3月1日～ 平成25年5月31日	-	18,574,343	-	1,000	-	250

## (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## (7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年2月28日）に基づく株主名簿による記載をしております。

## 【発行済株式】

平成25年5月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 20,100	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 18,440,400	184,404	-
単元未満株式	普通株式 113,843	-	-
発行済株式総数	18,574,343	-	-
総株主の議決権	-	184,404	-

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式55株、自己保有株式69株が含まれております。

## 【自己株式等】

平成25年5月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(自己保有株式) ウエルシアホールディングス株式会社	東京都千代田区神田須田町1丁目9番地	20,100	-	20,100	0.11
計	-	20,100	-	20,100	0.11

## 2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

### (1) 退任役員

役名	職名	氏名	退任年月日
代表取締役会長		鈴木孝之	平成25年2月28日

### (2) 役職の異動

新役名及び職名	旧役名及び職名	氏名	異動年月日
代表取締役会長	取締役副社長	池野隆光	平成25年3月1日
取締役副社長	常務取締役	松本忠久	平成25年3月1日
取締役副社長 (執行役員グループ 営業企画本部長)	取締役 (執行役員グループ 営業企画本部長)	水野秀晴	平成25年3月1日

## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成25年3月1日から平成25年5月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年9月1日から平成25年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人により四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	8,009	5,480
売掛金	6,422	7,580
商品	29,378	37,261
その他	3,780	3,516
貸倒引当金	3	1
流動資産合計	47,588	53,836
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物（純額）	21,530	26,540
土地	6,567	8,115
リース資産（純額）	7,737	10,091
その他（純額）	2,026	2,120
有形固定資産合計	37,860	46,868
<b>無形固定資産</b>		
のれん	8,196	8,202
その他	863	1,596
無形固定資産合計	9,059	9,798
<b>投資その他の資産</b>		
差入保証金	13,400	13,794
その他	3,070	3,659
貸倒引当金	18	28
投資その他の資産合計	16,451	17,425
<b>固定資産合計</b>	63,372	74,093
<b>資産合計</b>	110,960	127,929

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	34,225	42,333
短期借入金	8,604	8,823
未払金	2,202	2,237
未払法人税等	1,368	1,513
賞与引当金	459	502
ポイント引当金	682	91
その他	4,183	5,403
流動負債合計	51,726	60,905
固定負債		
長期借入金	7,701	8,664
退職給付引当金	605	723
役員退職慰労引当金	1,513	1,408
資産除去債務	1,903	2,131
その他	4,718	5,691
固定負債合計	16,442	18,618
負債合計	68,168	79,524
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	17,725	17,932
利益剰余金	22,673	27,639
自己株式	38	40
株主資本合計	41,360	46,531
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24	58
為替換算調整勘定	-	0
その他の包括利益累計額合計	24	58
少数株主持分	1,407	1,814
純資産合計	42,792	48,405
負債純資産合計	110,960	127,929

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年5月31日)
売上高	214,866	244,743
売上原価	152,111	172,153
売上総利益	62,754	72,589
販売費及び一般管理費	55,281	63,444
営業利益	7,473	9,144
営業外収益		
受取利息及び配当金	28	34
不動産賃貸料	138	168
協賛金収入	128	207
ポイント引当金戻入額	-	422
その他	436	423
営業外収益合計	732	1,257
営業外費用		
支払利息	120	152
不動産賃貸原価	57	79
その他	84	61
営業外費用合計	262	293
経常利益	7,942	10,108
特別利益		
退職給付制度改定益	73	-
段階取得に係る差益	-	111
持分変動利益	-	121
その他	4	4
特別利益合計	78	237
特別損失		
固定資産売却損	0	18
店舗閉鎖損失	3	21
固定資産除却損	43	81
減損損失	62	23
役員退職慰労金	-	475
その他	29	18
特別損失合計	139	637
税金等調整前四半期純利益	7,881	9,708
法人税、住民税及び事業税	2,677	3,528
法人税等調整額	1,339	31
法人税等合計	4,017	3,560
少数株主損益調整前四半期純利益	3,863	6,148
少数株主利益	162	255
四半期純利益	3,701	5,892

【四半期連結包括利益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,863	6,148
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5	33
持分法適用会社に対する持分相当額	-	0
その他の包括利益合計	5	34
四半期包括利益	3,869	6,182
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,707	5,926
少数株主に係る四半期包括利益	162	256

## 【会計方針の変更等】

<p>当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年9月1日 至 平成25年5月31日)</p>
<p>(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)</p> <p>当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年9月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。</p> <p>これによる、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。</p>

## 【注記事項】

## (四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年9月1日 至 平成24年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年9月1日 至 平成25年5月31日)
減価償却費	2,809百万円	3,766百万円
のれんの償却額	1,028百万円	1,039百万円

## (株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年9月1日 至 平成24年5月31日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年10月28日 取締役会	普通株式	335	20.00	平成23年8月31日	平成23年11月28日	利益剰余金
平成24年4月13日 取締役会	普通株式	369	20.00	平成24年2月29日	平成24年5月2日	利益剰余金

## 2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年9月1日 至 平成25年5月31日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年10月22日 取締役会	普通株式	461	25.00	平成24年8月31日	平成24年11月12日	利益剰余金
平成25年4月12日 取締役会	普通株式	463	25.00	平成25年2月28日	平成25年5月2日	利益剰余金

## 2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、医薬品・調剤・化粧品等を中心とした小売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年5月31日)
1株当たり四半期純利益金額	200円36銭	317円56銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	3,701	5,892
普通株主に帰属しない金額	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	3,701	5,892
普通株式の期中平均株式数(千株)	18,476	18,554

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2 【その他】

第5期(平成24年9月1日から平成25年8月31日)中間配当については、平成25年4月12日開催の取締役会において、平成25年2月28日の最終の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	463百万円
1株当たりの金額	25円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成25年5月2日

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年7月11日

ウエルシアホールディングス株式会社  
取締役会 御中

### 新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 岸 洋 平

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 有 川 勉

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているウエルシアホールディングス株式会社の平成24年9月1日から平成25年8月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成25年3月1日から平成25年5月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成24年9月1日から平成25年5月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ウエルシアホールディングス株式会社及び連結子会社の平成25年5月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。